

6/27 73-28



## 沖縄 辺野古弾薬庫建て替え計画黒塗り

米軍辺野古弾薬庫  
(沖縄県名護市)での  
新基地建設とともに  
大規模な弾薬庫建て替  
え工事をめぐり、在沖  
海兵隊作成文書から、  
工事の概要や使用部隊  
名の記述が黒塗りなど  
で抹消されている問題  
(本紙6月11日付一面  
既報)は、「作戦保全の  
必要性」を理由にした  
「秘匿」だったと米軍  
が認めました。

米軍が、防衛省沖縄  
防衛局を通じて22日、  
「作戦保全の必要性に  
基づき、軍隊に関する  
具体的な詳細は言及い  
たしかねる」とコメント  
しました。辺野古弾  
薬庫問題の検証に取り  
組むジャーナリスト、  
山本真直氏に回答した  
ものです。

米国内では全文を公  
表しても、日本には  
「作戦保全」の名で秘  
匿する米軍。県内紙も  
新設工事の情報は一切秘匿した  
まま、金額日本負担で強行され  
る建て替え工事。奥は大浦湾  
「沖縄ドローンプロジェクト」  
提供)(2020年9月4日撮影)

# 米軍が“秘匿”認める

## 「作戦保全のため」と

19年版「」を入手し、  
「辺野古弾薬庫再開発  
計画の白紙を求める」  
署発行の「沖縄の米軍  
基地」で公表されてい  
る弾薬庫の使用部隊名  
までが黒塗りされている  
のは「不当な隠ぺい  
だ」と、説明と使用部  
隊名の公開を求めてい  
ました。

米軍の回答で、山本  
氏は「辺野古新基地建  
設と一体の新弾薬庫群  
建設強行のための『作  
戦保全の必要性』に県  
民不在、米軍優先が透  
けて見える」と指摘し  
ました。

ます。